

課題	方針	方針説明	措置	新規 施策	番号	施策	施策概要	具体的取組	具体的取組（具体的な事業か？） ※ 新規取組には【新】をつける	(取組主体を記入)					(事業の実施期間を記入)					
										行政	文化財 所有者	住民 関係団体	有識者 専門家	事業者	継続実施	短期 (R6-R9)	中長期 (R6-R13)			
①文化財の把握に関する課題 市民とともに地域で守り伝えられてきた多様な文化財を掘り起こし、価値づけをより明確にしていく必要がある。	方針1 文化財を掘り起こす	調査・研究を計画的に実施し、文化財を把握する	文化財を総合的に把握する			1-1	市民ニーズの把握・分析	定期的なアンケートを通じて市民ニーズを分析することで、効果的な事業展開につなげる。	・まちづくりアンケート（定期実施） ・博物館、宝物館等の来館者アンケート	・まちづくりアンケート ・来館者アンケート ・真田宝物館 来館者アンケート ・定期的に各専門団体（仏神、建築、土木、音楽など）にアンケートを取る【新】	◎	○	○	○	○	■		■		
			●	1-2	文化財の総合把握調査	種別やテーマごとに体系的調査を計画的に行い、文化財を総合的に把握する。	・テーマ性をもった体系的調査 ・埋蔵文化財分布調査 ・「地域のお宝」発見事業	・埋蔵文化財分布調査 ・地域のお宝発見事業【新】 ・地域別体系的調査事業【新】(仏教美術調査・祭礼調査)(ガラス乾板、屋台人形、宮彫り彫刻の調査(鬼無里))(学校所蔵自然標本調査(新町)) ・戸隠竹細工調査【新】 ・戸隠山関連文書調査【新】 ・市民民俗文化財の調査(地藏盆・御柱・虎御前・赤地藏など) ・戸隠顕光寺の仏像の行方調査【新】 ・各地の文化活動団体と連携しての文化財把握調査【新】	◎	○	○	○	○	■		■				
			●	1-3	文化財統合データベースの整備	文化財に関する情報のデジタル化を進め、データベースとして集積し、継続的な情報の共有化を図る。	・宝物館、博物館、埋蔵文化財センター等有するデータベースの統合化 ・収集資料のデジタル化の推進 ・外部データベースとの連携(日本古生物標本横断データベース等)	・文化財課、博物館等文化施設が持つデータベースの統合化【新】 ・日本古生物標本横断データベースへの登録【新】 ・文化財のデジタル化推進	◎		○					■		■		
			文化財の研究と価値づけ			1-4	基礎研究の実施とそれに基づく文化財の収集	文化財の基礎研究を継続的にを行い、長野市の歴史文化を理解するために必要な文化財については博物館等において適切に収集する。	・博物館、宝物館での展示研究 ・関連資料の収集、整理、目録化	・博物館展示研究事業(展示に向けた調査研究) ・博物館収蔵品管理(清掃・燻蒸・環境調査文化財IPMの実施・収蔵資料目録刊行・IBMUSEUM整備) ・資料の調査と収集(収集方針に基づく資料評価) ・資料購入 ・真田宝物館展示研究事業 ・松代藩関係資料収集・整理・目録作成	◎			○			■			
				1-5	専門的な研究の実施	重要な文化財については外部の有識者と連携してより専門的な研究を行い、学術的価値等を明らかにする。	・専門家による文化財専門調査 ・他の研究機関との共同研究 ・博物館紀陽等による調査研究報告	・専門家による調査の実施 ・調査報告論文発表(紀要等刊行物) ・他研究機関との共同研究事業 ・戸隠宿坊の文書調査(大正大学)	◎				◎				■			
②文化財の保存に関する課題 経年劣化や災害等による文化財の滅失を防ぎ、文化財を確実に保存していくため、日常の維持管理と計画的な修理を行う必要がある。	方針2 掘り起こした文化財を保存する	適切な保存整備を推進し、文化財が失われることを防ぐ	文化財を適切に維持管理する			2-1	文化財所有者等への研修の実施	文化財の所有者・管理者に対する研修会等を通じて文化財の適切な維持管理の徹底を図る	・文化財所有者管理者研修会の開催	・文化財所有者管理者研修会	◎	◎					■			
			2-2	文化財パトロールの実施	指定等文化財の定期的なパトロールを行い、保存状況をモニタリングする。	・文化財パトロール	・文化財パトロール	◎	○	◎						■				
			2-3	保存活用計画の作成	指定等文化財の本質的価値を明文化し、適切な保存と活用を図るため、保存活用計画の作成を促進する。	・文化財の保存活用計画の策定(支援)	・真田家墓所保存活用計画作成【新】 ・旧横田家住宅保存活用計画作成【新】 ・作新学校保存活用計画作成【新】 ・戸隠神社奥社社叢保存活用計画策定支援 ・鬼無里ふるさと資料館の屋台・神楽の保存活用計画作成【新】	◎	◎									■		
			2-4	文化財収蔵施設の適正化	文化財を継続して適切に保存できるように、収蔵施設の整備を行う	・真田宝物館展示収蔵施設整備 ・博物館展示収蔵施設改修 ・既存収蔵施設の再編	・博物館の収蔵施設整理【新】(施設の再編成と資料の再評価) ・展示・収蔵環境改善【新】(照明・空調など) ・施設の長寿命化 (・真田宝物館展示室及び収蔵施設整備【新】)	◎									■			
			●	2-5	文化財保存団体との連携	文化財の保存活動を行っている団体等との連携を図っていく。	・各団体との連携のための窓口の設置	・団体を束ねる窓口の設置【新】 ・郷土史家グループとの連携【新】	◎		○								■	
			文化財を適切に修理する			2-6	指定等文化財の保存整備	指定等文化財の修理や保存のための整備を計画的に実施する。	・指定等文化財の保存整備(支援) ・収蔵資料の燻蒸、修復	・大室古墳群保存整備 ・松代城跡保存整備 ・旧文武学校保存整備 ・旧横田家住宅保存修理 ・指定等文化財修理事業補助金(国登録への支援検討【新】) ・伝統的建造物群保存事業補助金 ・資料の燻蒸、施設の環境調査の実施 ・収蔵資料の修復委託 ・収蔵刀剣の手入れ・研磨 ・真田邸襖の下張り文書整理及び目録化(松代文化財ボランティアの会と協働)	◎						■			
				2-7	文化財の記録保存	やむを得ず滅失してしまう文化財については記録として保存する。	・埋蔵文化財緊急発掘調査 ・滅失が危惧される文化財の記録保存調査 ・資料のデジタルデータ化の推進	・埋蔵文化財緊急発掘調査 ・歴まち計画に記載された町屋の記録調査【新】 ・資料のデジタルデータ化の推進 ・滅失が危惧される文化財の記録保存調査【新】 ・無形文化財の映像記録作成【新】	◎	○	○	◎				■				
			災害や盗難等に備える			2-8	防災・防犯意識の啓発	指定等文化財の防災・防犯に関する計画やマニュアル作成、訓練の定例実施などにより、防災・防犯意識の啓発を図る。	・指定等文化財の防災マニュアル作成	・戸隠伝建地区防災マニュアル作成【新】 ・文化財防災チェックリスト作成【新】	◎	○	◎	◎	○					■
				2-9	防災・防犯施設の整備	防災や防犯上のリスクを想定し、それらを防ぐための設備を整備する。	・指定等文化財の防災設備整備	・善光寺防災施設整備 ・旧横田家住宅防災施設整備 ・戸隠伝統的建造物群保存地区防災対策	◎	◎							■			
				2-10	文化財レスキューの整備	文化財を救出する体制を整え、災害発生時のスムーズな文化財レスキューを実現させる。	・文化財レスキュー体制の整備	・文化財レスキューマニュアルの整備【新】 ・地域住民、消防団と連携したレスキュー体制の構築【新】 ・令和元年東日本台風災害文化財保全活動	◎		○						■			

課題	方針	方針説明	措置	新規 施策	番号	施策	施策概要	具体的取組	具体的取組（具体的な事業か？） ※ 新規取組には【新】をつける	(取組主体を記入)				(事業の実施期間を記入)						
										行政	文化財 所有者	住民 関係団体	有識者 専門家	事業者	継続実施	短期 (R6-R9)	中長期 (R6-R13)			
③文化財の活用に関する課題 市内に存在する多様な文化財を市民や来訪者（観光客等）の誰もが知ることができ、その本質的価値を理解し、日常的に活用をしていくことで、文化財の保存と活用の好循環を生み出していく必要がある。	方針3 歴史文化の魅力を伝え活用する	文化財の魅力を活用し、保存継承へつなげる	文化財を学ぶ機会を充実させる				3-1	生涯学習との連携推進	公民館講座への講師派遣や出前講座などを通じて地域の歴史や文化を再発見する機会を充実させる	・公民館や各団体へ出前講座 ・博物館等文化施設で生涯学習の機会を増やす	・公民館講座や各団体への講師派遣 ・出前講座 ・博物館教室（講座、ワークショップの開催） ・ギャラリートーク（展示解説） ・古文書講座 ・資料の取扱い・整理学習（松代文化財ボランティアの会と協働）	◎		◎			■			
			3-2	学校教育との連携推進	小・中学校において地域の歴史や文化について子ども達が学ぶ機会を充実させる	・学校へ出前講座 ・博物館等文化施設で子ども向けワークショップの開催 ・NAGANO検定の実施 ・小学校社会見学受入（博物館等文化施設） ・文化財デジタルデータの教材化【新】 ・地域と教員の連携支援【新】	・出前講座 ・NAGANO検定 ・小学校社会見学の受け入れ ・体験用資料の貸し出し ・中山間地域における美術鑑賞・創作教育事業（新町美術館）【新】 ・職場体験 ・真田宝物館子ども向けイベント・ワークショップ活動（松代文化財ボランティアの会と協働） ・施設見学案内、ワークショップ体験（松代文化財ボランティアの会と協働） ・教員と連携した文化財デジタルデータの教材開発【新】 ・地域と教員を結びコーディネーターの設置【新】	◎		◎		○		■		■				
			3-3	普及啓発活動の支援	文化財の保護や普及啓発につながる市民主体の活動を支援する	・博物館等文化施設のボランティア・友の会活動の推進 ・育成団体に対する補助	・育成団体に対する補助 ・博物館友の会、松代文化財ボランティア等の推進	○		◎					■					
			文化財についての情報発信を拡充する				3-4	デジタル化した文化財を活用した情報発信	文化財のデジタルデータを総合するポータルサイトの構築やSNSを通じて文化財情報の積極的な発信を行う。	・デジタル化した文化財を用いたSNS、YouTube等による情報発信 ・文化財総合ポータルサイトの開設	・文化財デジタル図鑑 ・デジタル宝物館 ・博物館SNS、おうちで博物館、収蔵品データベース（屋台彫刻の3D画像公開【新】（鬼無里）） ・真田宝物館収蔵品管理・公開システム ・真田宝物館SNS、YouTubeによる動画配信 ・文化財総合ポータルサイト開設【新】 ・市内年中行事のカレンダーを載せたサイトを作る【新】 ・SNSによる伝統工芸の発信【新】	◎					■		■	
			3-5	説明板等の設置、改修	指定等文化財所在地に標柱・説明板等を整備するとともに、QRコードを活用して多角的な情報発信を行う。	・QRを活用した説明板・標柱等の設置	・説明板・標柱等の設置 ・QRを活用した説明板・標柱等の設置 ・サインデザインの統一【新】	◎					■							
			3-6	博物館等での展示公開	博物館や真田宝物館の特別展や企画展、その他出張展示等で地域に根差したテーマ文化財を展示公開する。	・博物館等文化施設での展示公開 ・出張展示	・博物館における企画展の実施、常設展示の更新 ・松代藩文化施設特別企画展 ・発掘調査速報展 ・文化財調査の速報展示【新】	◎					■							
			3-7	多言語解説の拡充	外国人居住者や旅行者が地域の歴史や文化を理解するために必要な多言語での解説整備を行う	・博物館等文化施設での拡充整備	・文武学校等、松代文化施設に整備 ・展示解説の多言語化【新】	◎											■	
			3-8	文化財関連刊行物の発行	文化財調査で得た情報を一般向けに刊行物にまとめ発行する	・博物館等文化施設での刊行物の発行 ・民間の研究団体が発行したの刊行物の把握	・善光寺関連の伝承に関する書籍（伝説・七名所・聖徳太子）の発行 ・博物館、真田宝物館での刊行物の発行	◎		◎						■				
			持続可能な文化観光を推進する				3-9	ガイド人材育成支援	文化財に通じた観光のプロガイドを配置し、来訪者の案内を充実させるとともに、観光ニーズの調査も実施する。	・観光人材・プロガイドの育成 ・既存のガイドとの連携	・観光人材・プロガイドの育成（観光振興課 1-1） ・観光案内ボランティアガイドの会との連携（鬼無里） ・外国人専用のガイド（梵鐘の会）との連携	○		◎				■		
			3-10	市内周遊促進のためのガイドマップ等の作成	本市の歴史・文化・伝統といった地域資源を活かし、その周遊を促進させるためのコンテンツ開発を支援する。	・文化資源を活用した観光ルートやまち歩きガイドマップの作成および支援 ・周遊道路整備事業	・文化資源を活用した観光ルートやまち歩きガイドマップの作成（観光振興課 1-1） ・周遊道路整備事業 ・フットパスコース、eバイクコースとの連携【新】（鬼無里） ・ジオサイト（市内の特異な地形・地質等が観察できるポイント）の周遊【新】（新町） ・善光寺七福神めぐりの制定、普及、ガイドの育成 ・善光寺表参道の命名と参道沿いの名所マップの作成	○		◎		◎				■				
			3-11	文化観光コンテンツの開発支援	歴史・文化、アクティビティ等の地域資源を活用し、観光客に訴求する体験型観光コンテンツの開発を支援する	・歴史・文化、アクティビティ等を活用した体験型観光コンテンツの開発 ・文化財のデジタルデータを活用した体験型観光コンテンツの開発	・歴史・文化、アクティビティ等を活用した体験型観光コンテンツの開発（観光振興課 2-1） ・ガイド協会案内と精進料理ツアー ・山城ツアー ・古戦場クイズ ・真田邸でレストラン【新】	◎	○	○		○				■				
			3-12	文化財の磨き上げ	市民や観光客が文化財の魅力を体感できるよう、文化財の付加価値を高めて観光資源としての磨き上げを図る	・歴史・文化、景観、伝統産業（地場産業）の保全活動の観光コンテンツ化	・まち並みや里山などの景観の保全及び観光コンテンツ化 ・歴史・文化、伝統産業（地場産業）の保全活動の観光コンテンツ化（観光振興課 1-2） ・藤屋GOHONJINのようなリノバ ・御柱大給馬の作成と奉納 ・松代文武学校で演劇公演 ・絵解きの口演	◎		◎		○				■				

課題	方針	方針説明	措置	新規 施策	番号	施策	施策概要	具体的取組	具体的取組（具体的な事業か？） ※ 新規取組には【新】をつける	（取組主体を記入）				（事業の実施期間を記入）					
										行政	文化財 所有者	住民 関係団体	有識者 専門家	事業者	継続実施	短期 (R6-R9)	中長期 (R6-R13)		
			文化財を活かした歴史まちづくりを推進する		3-13	文化財を軸としたまちづくり推進	地域の魅力である文化財を核とした都市再整備を推進し、地域らしさを活用したまちづくりを行う	・文化財を核にした整備事業 ・文化財を核としたまちづくり団体との連携	・松代城跡第2期整備事業 ・まっしろそん（新たな松代滞観光プログラム作り） ・善光寺周辺地区の文化財を活用した多種イベントの開催 ・北信流講座 ・門前空き家見学会 ・善光寺クエストの開催【新】 ・文化財をサービス提供施設として捉えた整備とイベントの実施【新】 ・文化財に関わるいろいろな立場の人たちが話し合う場を作る【新】	◎		○	○	○			■		
			3-14			歴史的まちなみ景観整備	歴史的建造物の修理や周辺建物の修景、道路の無電柱化や美装化など地域の魅力を高めるための事業を実施する	・伝統環境保存事業の改正の検討 ・無電柱化、道路美装化事業	・伝統環境保存事業改正の検討 ・無電柱化、道路美装化事業 ・景観重要建造物修理助成事業 ・歴史的風致形成建造物修理助成事業	◎						■			
			3-15			文化施設の持続可能な活用マネジメント	歴史文化を伝える場として、文化施設のより一層の活用を図る	市内文化施設について、教育機関としての機能と観光施設としての機能を両立させ、各施設や地域との連携を深めることで、より質の高いサービスを提供する	・博物館等文化施設と観光施設及び地域との連携	・博物館再編基本計画策定事業【新】 ・長野市芸術館との共同展覧会の実施（新町美術館） ・ミュージアムコンサートの開催（新町美術館） ・戸隠と連携した鬼女紅葉のPR【新】（鬼無里） ・観光施設と連携した周遊クーポンの発行【新】（新町） （真田宝物館建て替え事業【新】）	◎		○		○		■	■	
④ 文化財の継承に関する課題 社会環境の変化による文化財の担い手不足や、保存に関わる専門人材の不足、文化財の保存に必要な資金・資材の不足に対して、市民と行政が一体となって文化財を次世代に継承していくための仕組みづくりに取り組む必要がある。	方針4	る担い手づくりや保存体制の仕組みを構築し、文化財を次世代へ確実に継承する	文化財の担い手を育成		4-1	伝統芸能の継承支援	伝統芸能や伝統文化を次世代に継承するため、後継者や指導者の育成を支援する。	・団体の活動や用具の修理等に対する資金援助	・団体の活動や用具の修理等に対する資金援助										
			4-2			発表機会の提供	次世代の担い手となる子供たちを含め、多くの市民が伝統芸能に触れられる機会を提供する	・伝統芸能発表の機会の提供	・伝統芸能子どもフェスティバルの開催 ・なかの獅子舞フェスティバルの開催（文化芸術課 事業20） ・市立長野高校美術部作品の展示（新町美術館）	○		○		◎		■			
			4-3			伝統工芸の継承支援	伝統的な職人の技術を有し、技術の保存、継承、業界の振興発展に寄与する人材の育成について支援を行う	・伝統工芸継承支援	・戸隠竹細工芸継承支援（戸隠支所）	◎							■		
			4-4			文化財に携わる人材の確保	今後も増加する多種多様な文化財保存活用の担い手の確保を行う	・文化財の担い手となる市民・団体の育成【新】 ・文化財に関わる専門職員の充実を図る	・各専門人材による連携体制の充実【新】 ・今後文化財の担い手となる市民・団体の育成【新】 ・小中高の教員を対象に地域についての勉強会実施（信州新町） ・学校教員向けの地域の歴史や文化財の研修会実施【新】 ・子どもたちが地域の伝統行事を回るたびにスタンプが押されるような仕掛けづくり【新】	◎		○	○					■	
			4-5			文化財保護のための資金調達	クラウドファンディングやふるさと納税など様々な制度を活用し、文化財保護のための安定的な資金制度の創設を検討する	・ふるさと納税の活用 ・クラウドファンディングの活用 ・企業連携による資金調達	・ふるさと納税活用による史跡整備 ・クラウドファンディングの活用、企業連携による資金調達【新】 ・JR東日本文化財団で毎年文化財保存活動を支援（観光事業の視点から） ・清掃等クリーンアップツアーによる資金作り【新】 ・地元企業から協賛金を獲得する【新】	◎	○	○		○					■
			4-6			文化財修理のための原料確保	重要伝統的建造物群保存地区などで使用する屋根材を確保する	・継続的な資料修復のための技術者及び原料の確保・支援	・戸隠茅場整備事業	◎		○					■		
			4-7			文化財保存活用支援団体との連携推進	専門的なスキルを有する団体を積極的に支援団体として指定し、パートナーシップを結ぶことで官民一体となって文化財の保存・活用を図る	・文化財保護協会・ハリテージマネージャー、信州資料ネット等との連携強化 ・歴史的建築物の活用ノウハウを有した民間企業との連携	・文化財保護協会との連携 ・ハリテージマネージャーとの連携 ・なかのくはくパートナーの育成・連携（信州資料ネットとの連携） ・歴史的建築物の活用ノウハウを有した民間企業との連携【新】	○		◎	○	○			■		